朝Café

FUJITSU

富士通におけるAX（AI変革）



富士通株式会社

2026年9月

© 2026 Fujitsu Limited



富士通株式会社　執行役員専務
エンタープライズ事業　CEO

FUJITSU

福田 譲　Yuzuru Fukuda

1997	SAPジャパン入社 大手化学・石油メーカー担当の法人営業
2007	バイスプレジデント ビジネスプロセスプラットフォーム本部長
2011	同　プロセス・ディスクリート インダストリーセクター本部長
2013	同　営業統括本部長
2014	代表取締役社長（～2020年3月）
2020	富士通入社、執行役員常務 CIO 兼 CDXO補佐(4月)
2023	同 CDXO, CIO　※CDXO (最高デジタル変革責任者) ※CIO (最高情報責任者)
2025	現職

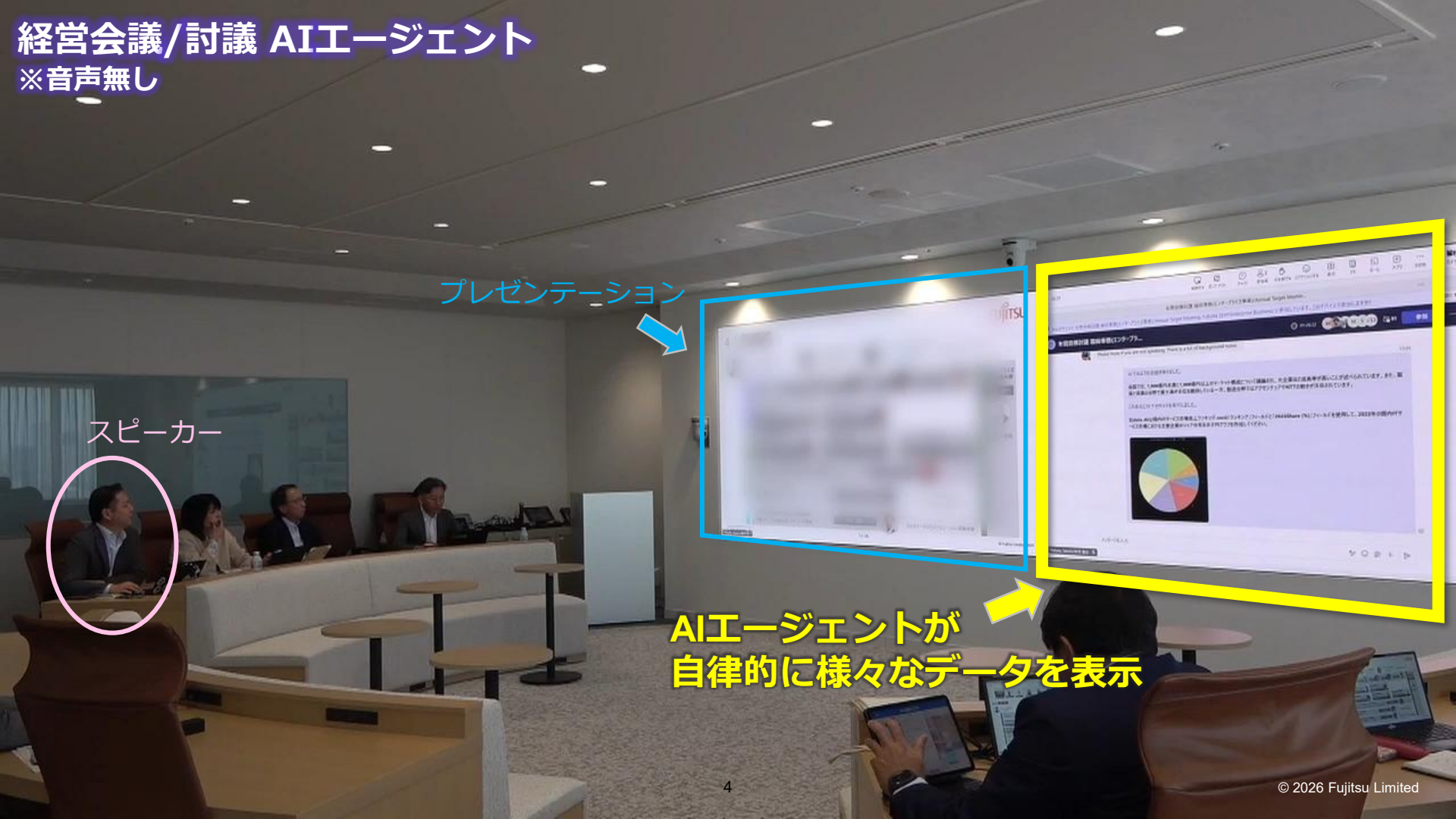
早稲田大学 卒業（1997年）
INSEAD（欧州経営大学院） RMDP修了（2006年）
慶應大学ビジネススクール 高等経営学講座修了（2012年）
早稲田大学ビジネススクール GRLP修了（2016年）
株式会社SHIFT　社外取締役（2018-19）
経済産業省　DX研究会委員（2020, 2021, 2022）
国際CIO学会　評議員
情報処理推進機構(IPA) デジタルアーキテクチャデザインセンター(DADC)　アドバイザリーボード
WEF（世界経済フォーラム）Chief Digital Officer Community Member
経済同友会　会員
LinkedIn 最も発信力のあるリーダー10人（Influencer of the year 2020）

千葉県柏市出身　趣味：B級グルメ・歴史探訪・スキー・ゴルフ・水泳・温泉・サ活・ドライブ・旅行・乱読
1975年1月30日 愛知県生まれ、千葉県柏市出身　2男1女　パーパス「日本を、世界を、もっと元気に！」

© 2026 Fujitsu Limited

概要：富士通におけるAIの取り組み

経営会議/討議 AIエージェント
※音声無し



© 2026 Fujitsu Limited

富士通におけるAI取り組み全体像（2026年1月時点）

今日のセッションでのご案内

FUJITSU

営業	サービスデリバリ	経営管理	調達/SCM	ファイナンス	人事	サポート
顧客分析 •Business AI Agent •M365 Copilot •ChatAI for Project	分析調査(CA) •ChatAI for Project •Local LLM	経営戦略 •Dynamic Agent •Dynamic Agent •Dynamic Agent	受注～請求 •GSSC with AI	連結決算	採用	問い合わせ L1 •ChatAI for Project •coco-bot •Virtual Agent
提案 •Business AI Agent •Go-Teian •Fujitsu AI Auto Presentation	設計(RD-SS) •ChatAI for Project •Local LLM	受注予測 •受注予測AI	発注～支払い •GSSC with AI	中期・年度計画	人事管理・給与	問い合わせ L2 •ChatAI for Project •coco-bot •Virtual Agent ITSM
契約	製造(IT-MF) •ChatAI for Project •GitLab •Local LLM		債務管理 •GSSC with AI	業績予測・実績分析 財務分析・経営指標管理	人材開発 •Career AI Agent	問い合わせ L3
重点⑥ スーパーコールセンター	テスト(IT-ST) •ChatAI for Project •Local LLM			税務・コンプラ	タレントマネジメント	
	運用保守(OM) •ChatAI for Project •Local LLM			債権管理 •GSSC with AI	福利厚生	

重点⑤ 提案プロセス自動化・高度化

重点② システムデリバリープロジェクトAI実践

重点③ データ駆動経営高度化

重点① OneFujitsu – 基幹・コーポレート業務自動化/高度化

重点④ OneContact レスポンス自動化

全156テーマ

共通業務

打ち合わせ、議事録、翻訳、資料作成、検索、データ収集、レポート/資料作成、意見集約、アンケート集計分析、タスク・進捗管理、アイデア出し、ブログ作成、1on1支援 etc..

© 2026 Fujitsu Limited

富士通における生成AI利用状況（2025年12月末時点）

FUJITSU

月間アクティブユーザ数

70,000 人

- LLM App / API
- RAG
- Coding Assistant
- AI in SaaS

総利用回数

約38 万回/日

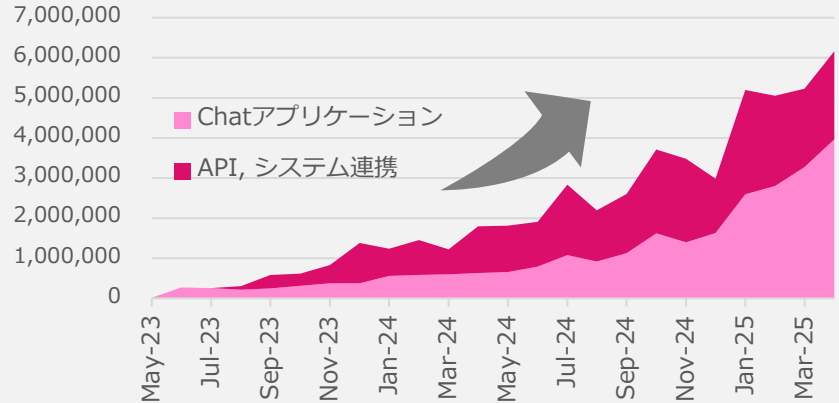
- LLM App / API
- RAG
- Coding Assistant
- AI in SaaS

AIによる効率化時間

※134 万時間/年

- LLM App / API
- RAG
- Coding Assistant
- AI in SaaS

AIサービス月間利用回数推移（2023年5月~2025年4月）



主な提供機能

- ✓ GPT, Geminiなど複数LLM利用可
- ✓ テンプレート機能
- ✓ プロンプトの自動補正
- ✓ 画像入力、音声入力
- ✓ PowerPoint出力
- ✓ RAG機能
- ✓ ノーコード / ローコードプラットフォーム、データ分析ツール連携

商談状況分析＆経営レポート生成

報告までのリードタイム
6日 → 3日
作業工数
13人月 → 0人月

社内ITサポートAI

ユースケース洗い出し
47の社内ITサービス適用
ITサポート対応コスト
18%削減見込み

※AIサービスの利用率および残業時間推移の実績より因果分析を行い算出

© 2026 Fujitsu Limited

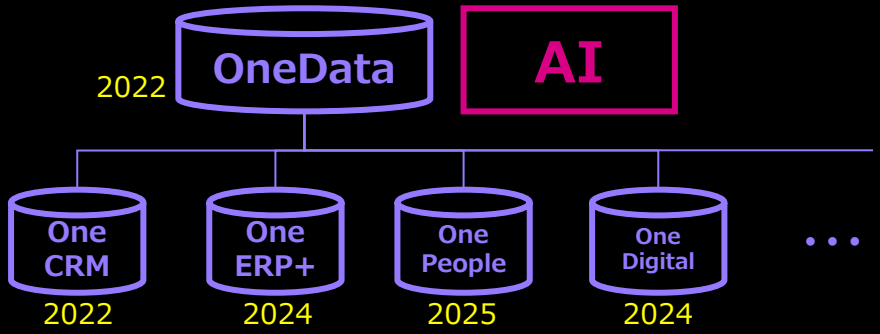
FUJITSU

「経営/データ活用」におけるAI



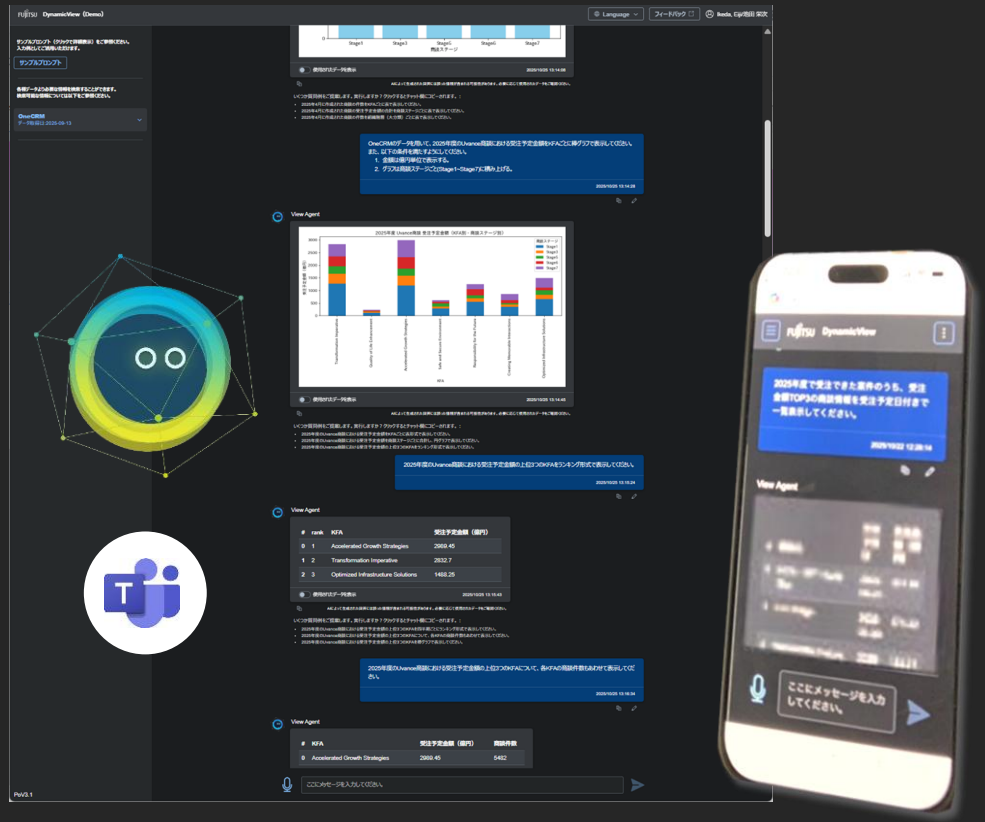
※2024
富士通・新本社ボードルーム

OneFujitsu, OneData (AI readyなデータ) x AI



- 全社データ司令塔部門をCEO室に設置
- 80,000人超の社員が同じデータを利用
- データの鮮度/品質/カバレッジが鍵
- ステップ by ステップで継続進化
- 3つのリアル (課題, Data, オーナー)
- 全社基盤/体制を活かして全社AI展開

© 2026 Fujitsu Limited



①自律型データ共有
- リアルタイム
- 定期配信

②対話型データ提供

③イベント察知データ提供

© 2026 Fujitsu Limited

2つの経営変革プロジェクト (2020年～)

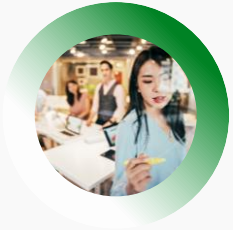
全社DX プロジェクト

経営・現場一体での自己変革プロジェクト
Fujitsu Transformation

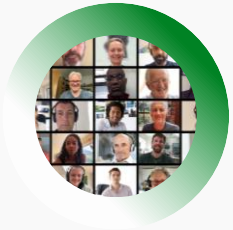
FUJITRA



経営の
リーダーシップ



現場が主役
全員参加



カルチャー変革

OneFujitsu プロジェクト

変革開始時 **4,000以上**のバラバラなシステム

業務プロセス・システムの標準化

▼

経営資源のデータ化・可視化

▼

未来予測型経営

リージョン・グループ会社横断

- OneERP+
- OneCRM
- OnePeople
- OneLicense
- OneSupport
- OneData

© 2026 Fujitsu Limited

データ&AI経営変革のための全社統制スキーム

FUJITSU

全社DXプロジェクト(フジトラ)、経営・業務基盤標準化、データ&AI の
3つの機能をCEO室に設置、CDXOがグローバル/グループ全体をリード

CEO



CDXO

*Chief DX Officer

CEO室

- 経営戦略
- フジトラ推進 DX Division
- OneFujitsu標準化 Data & Process Division
- DAC データアナリティクスセンター
- デザインセンター
- ・・・

FUJITRA

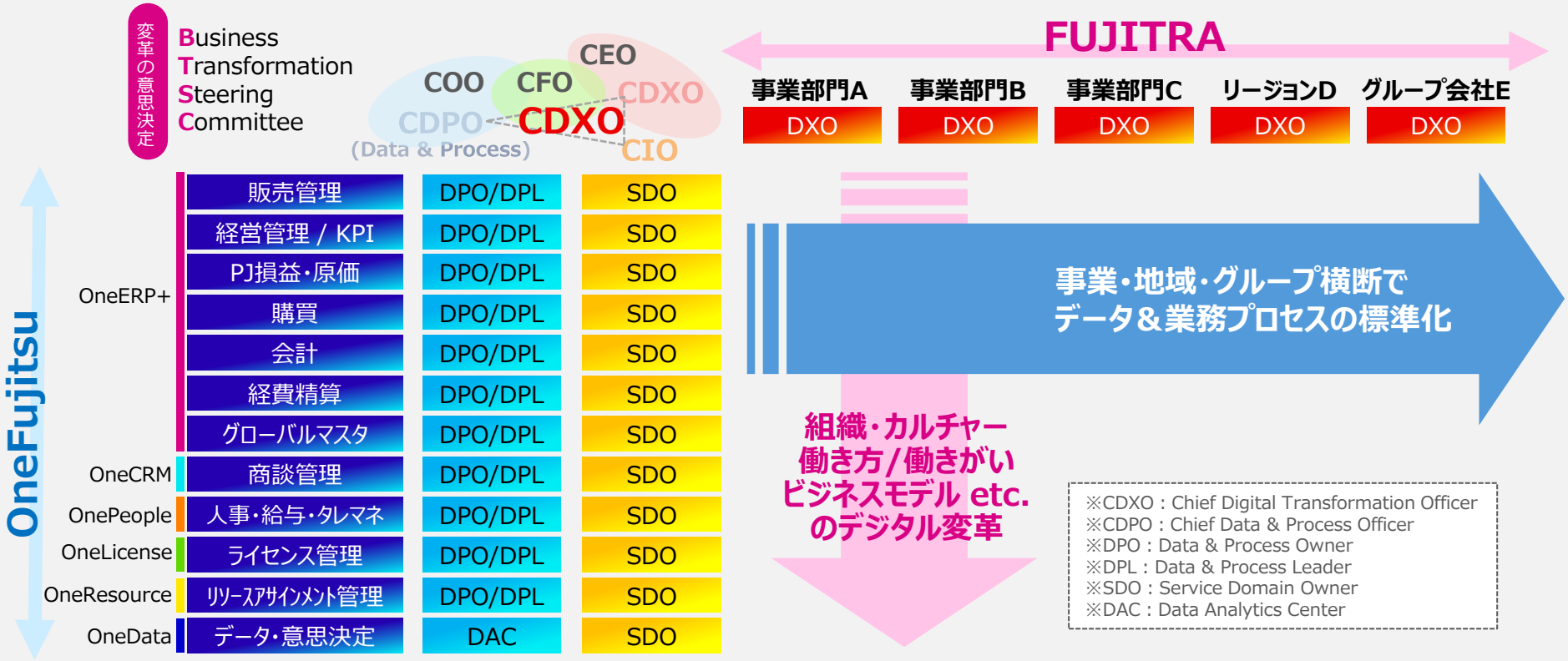
リージョン・グループ会社横断

- OneERP+
- OneCRM
- OnePeople
- OneLicense
- OneSupport
- OneData

社内IT部門

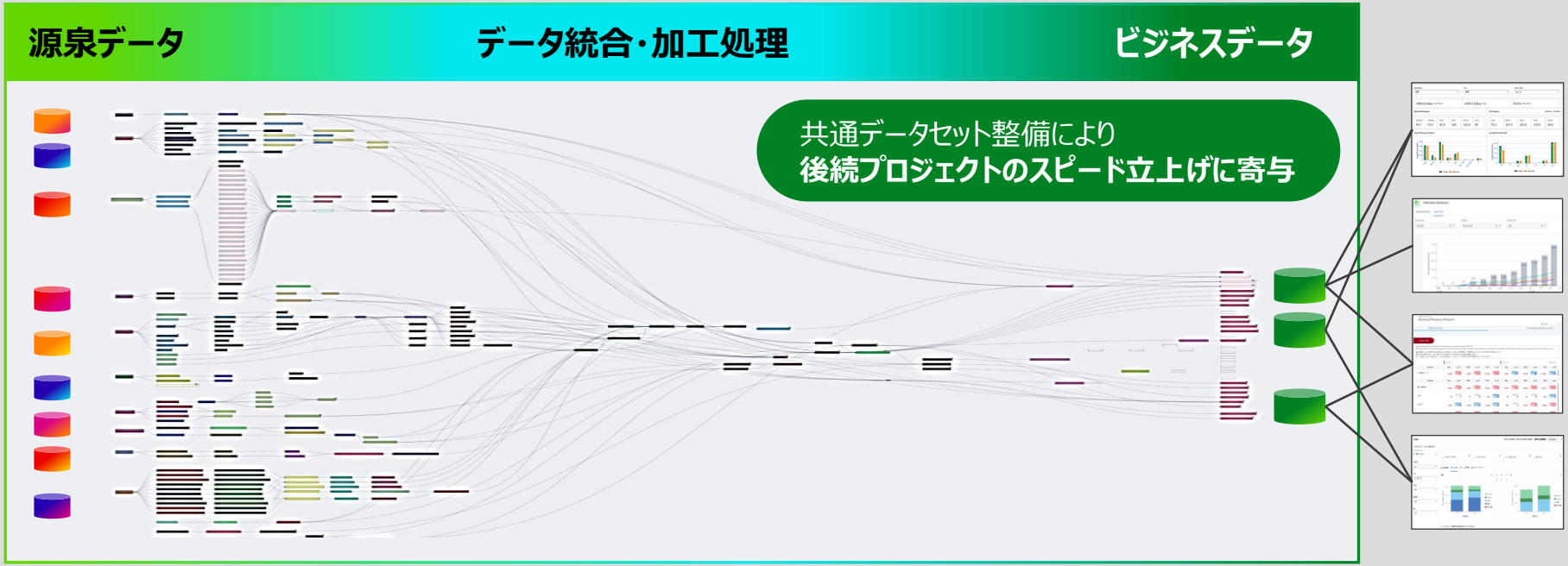
© 2026 Fujitsu Limited

Data & Process の変革・ガバナンス体制



© 2026 Fujitsu Limited

OneData：情報統合プラットフォーム

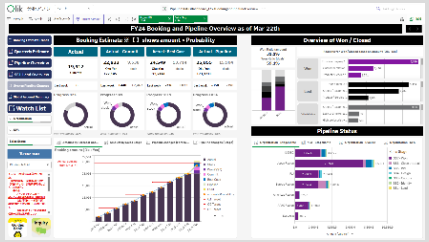


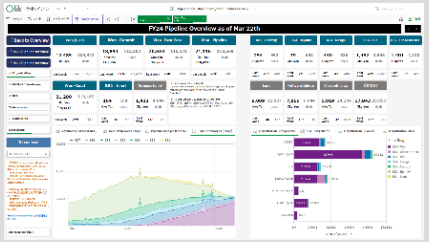
各種データを統合し **再利用性の高い** ビジネスユーザ向けデータを生成

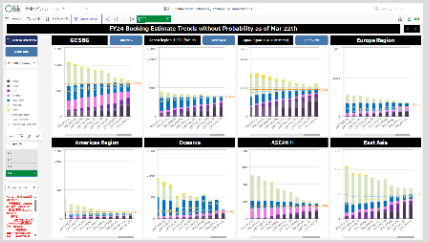
© 2026 Fujitsu Limited

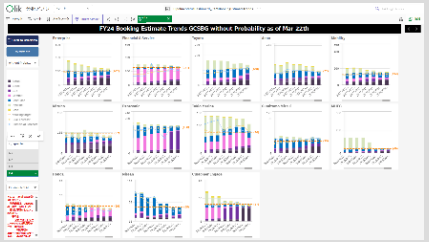
OneData

様々な経営イニシアチブで活用して進化 (2022~)

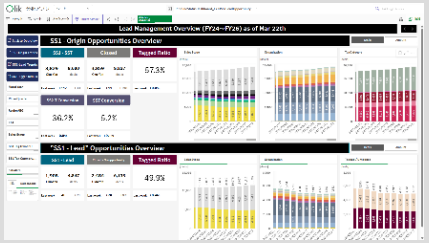


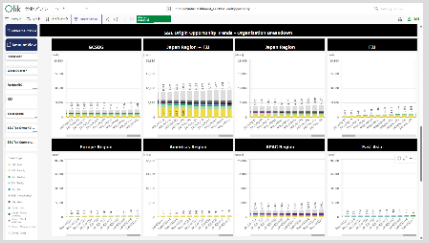


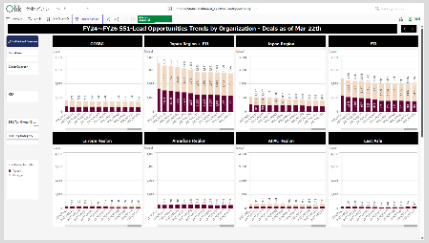


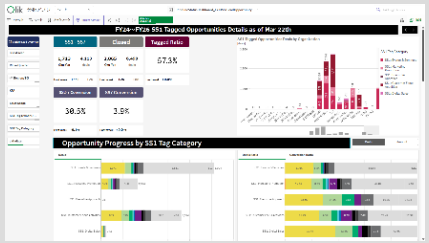


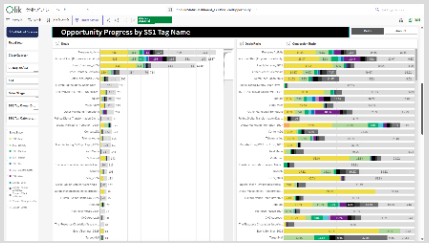


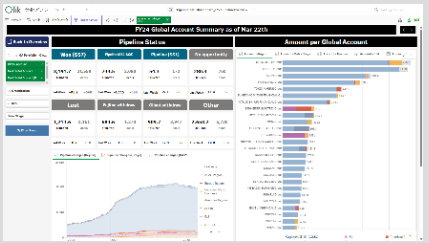


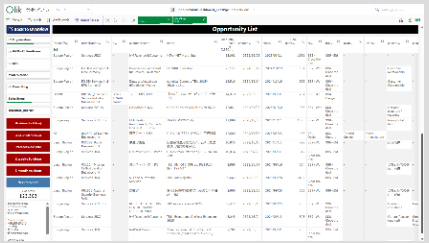








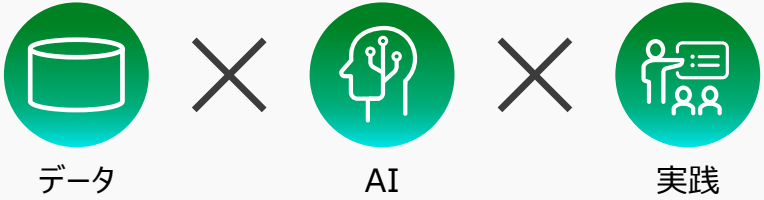




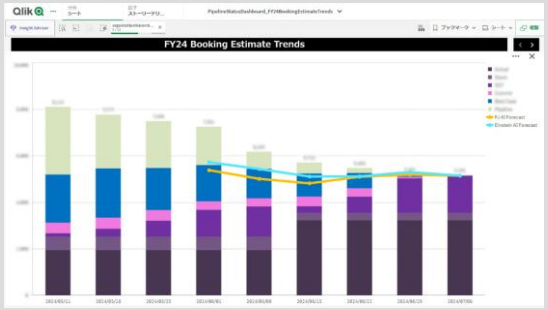
© 2026 Fujitsu Limited

充実してきたOneDataにAIを適用

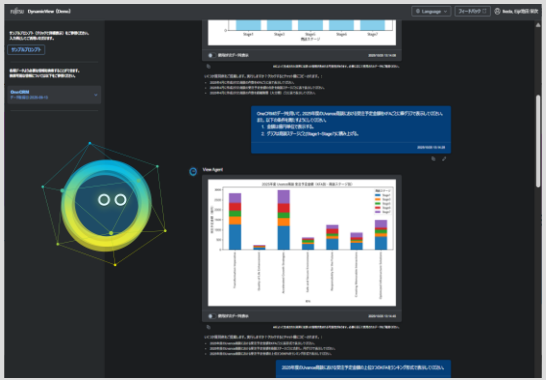
- 磨かれたデータの先に、AIが動き出す
- 実践でAIを磨き上げ、効果を生み出す



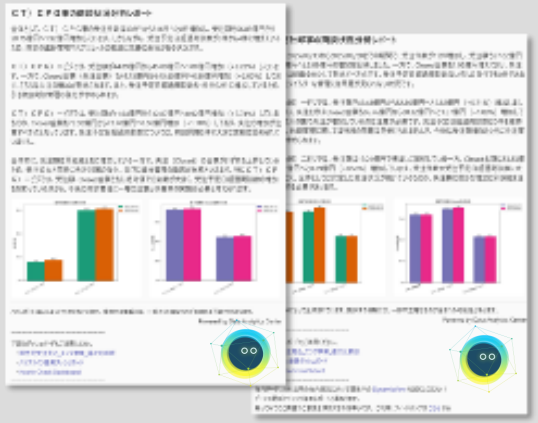
受注/売上予測
（機械学習）



対話型情報抽出
（生成AI）



パーソナライズド・レポーティング
（生成AI）



© 2026 Fujitsu Limited

組織・個人の行動変容施策

FUJITSU

DataPractice

FUJITRA

TOP FIRST プログラム

トップが率先して
意識を変える



経営シミュレーション
ワークショップ

現状を知り
行動を起こす



データドリブンマネジメント
成熟度アセスメント

全社で共有し
輪を拡げる



全社アワードイベント

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

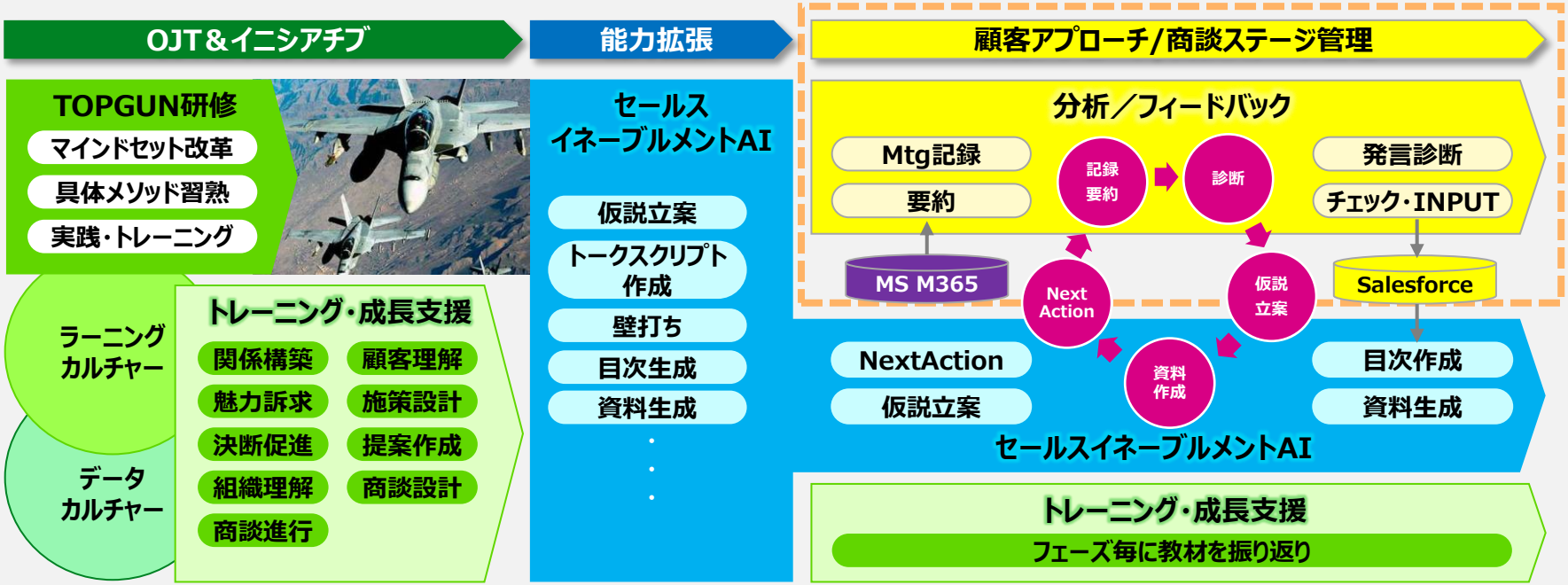
「営業/提案活動領域」におけるAI

営業/提案活動領域：個人・組織能力を拡張する

FUJITSU

○従来のSFA：SalesForce Automation

○個人・組織能力を拡張する：①セールスイネーブルメントAI、②トレーニング・成長支援



© 2026 Fujitsu Limited

営業/提案活動領域 × AI @ 富士通

※1.2倍速

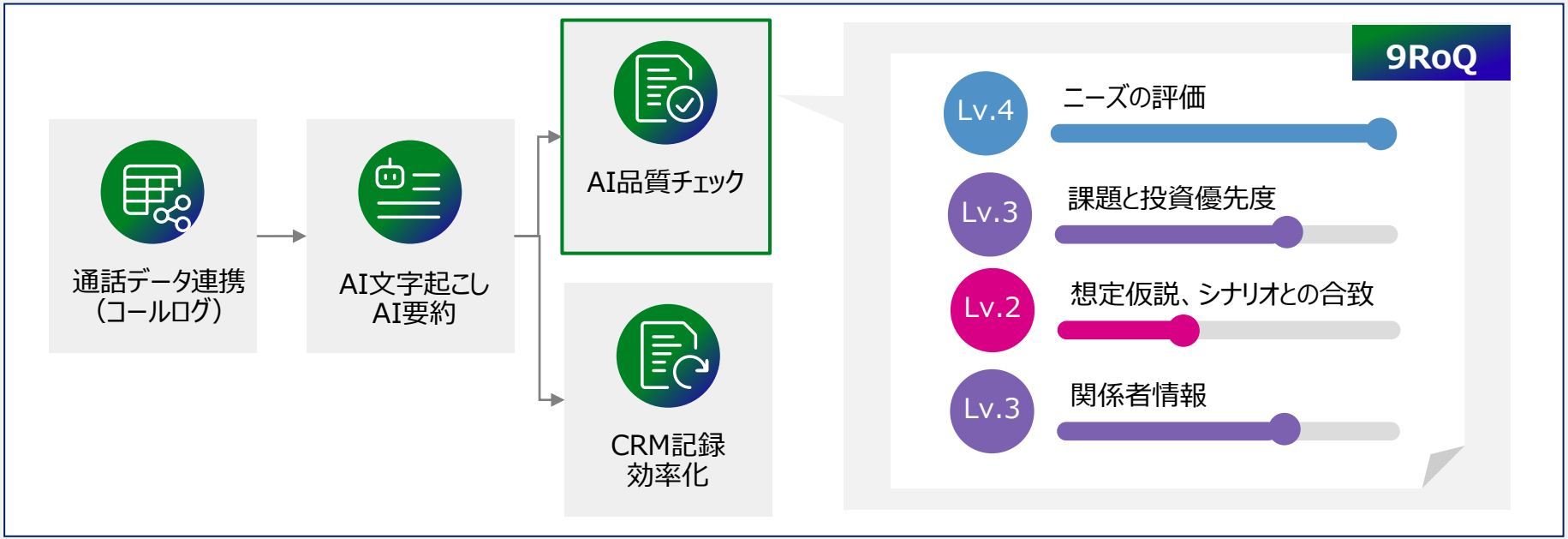


AIの活用：活動品質の詳細可視化と成長のサイクル

FUJITSU

コールログAI分析/品質評価により、活動品質を保持

- 本番のコールログ分析から品質レベルをAIが評価。トスアップ判定/活動改善に活用



© 2026 Fujitsu Limited



（太田様）現在健康管理であったりとか

AIの活用：実戦を想定した準備・練習・学習

FUJITSU

スキル向上・経験獲得の方法、学習カーブが変わる

- 時間制約なく、いつでも気軽にロープレ。データで科学的に評価・学習、簡単に反復練習可能



AIロープレのメリット

- ✓ 時間制約がない
- ✓ 客観的なフィードバック
- ✓ 感情的な負担の軽減
- ✓ 反復練習の容易さ
- ✓ 多様なシナリオ
- ✓ ロープレ品質の均質化

© 2026 Fujitsu Limited

チェンジマネジメント：包括的なアプローチ

「AIによる新しい体験」を包括的にデザインすることで、AIスキルが定着する環境を構築
ナレッジをエージェント化して、様々な市民開発AIと接続可能へ

Go-Teian　クエスト
ゲーム感覚で楽しみながら
生成AI活用スキルが見える化できる社内向け診断アプリ。
強化したいスキルに応じた
アーカイブ動画などをレコメンド。

Go-teian　Navi
良質な営業ナレッジを集約し、
商談プロセスごとに実践的かつ的確なアドバイスができる
コーチングAI

エイギョーラジオ
若手、中途営業向けに、現場のトップセールスをゲストに招き、商談のコツを根掘り葉掘り聞くラジオ番組。忙しいトレーナーやマネージャーのにも好評。

インダストリート
若手向けの業種・業務知識を
1単元10分で学べる
新しい教育コンテンツ。
ラジオ感覚で聴ける動画で
学びやすい設計に。



© 2026 Fujitsu Limited

AI活用と仕事の成果の相関分析

営業成績が高い人ほど、AIを使いこなしていることを確認

2025年上期：エンタ事業の社内実践による効果

生成AI スキルカテゴリ	人数	SS2～SS7 総計	SS3以上に進んだステージ推進率	平均の担当案件数	平均の受注金額（xxx）
診断なし 集計	495	**4,704**	**33%**	10	108
ビギナー 集計	154	**1,519**	**33%**	10	74
中度利用者 集計	161	**1,545**	**31%**	10	83
高度利用者 集計	32	**418**	**39%**	13	80
総計	842	**8,186**	33%	10	96

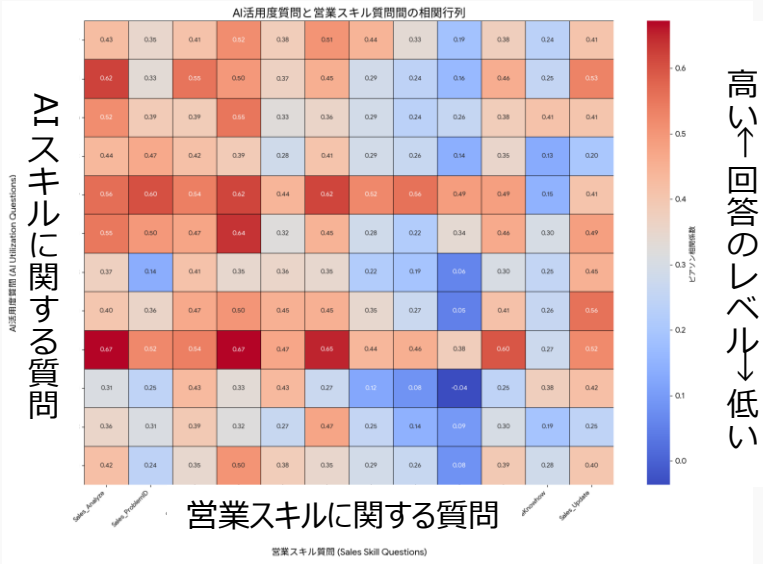
確認

高度利用者：
商談進捗率で6%、売上で20%の差異

※2：OneCRM抽出条件・エンタ事業のみ・25年4月と9月のスナップショットをマッチング

・Forecast Category：Exclude除く・案件明細受注予定金額：3,000万円以上

インサイト：営業力と生成AI活用スキルには正の相関がある



ほとんどの項目間で**正の相関**（0.1～0.6程度）が見られる。
AI活用度が高い人ほど、営業スキルも高い傾向があることを示唆している。※3

※3：エンタ事業CE事本向けアンケートより。回答者数46名

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

「サービス/デリバリー業務」におけるAI

AI成熟度モデル

Ridgelinez



テクノロジーの“有意性”を理解した
業務への適用による期待効果

付随業務
大幅な効率化

個人の生産性向上

Level 1

個人作業の支援

- 情報収集・調査・分析
- 資料作成・コーディング
- 添削・校正チェック（“壁打ち相手”的アドバイス）
- マルチタスク管理（コンシェルジュ機能・スケジューリング等）

組織に存在する
共通業務の自動化

Level 2

社内共通業務・作業への組込み

- 社内コミュニケーションツールへの組み込み　→問合せ業務の自動化＋会議の議事録自動生成
- Web・社内向けナレッジのリサーチ　→社内に蓄積された情報の検索・閲覧・利活用

業務プロセス
省人化・自動化

特定業務
省人化・自動化

Level 3

特定業務での活用深化・高度化

- リサーチ業務の自動化→社内外情報へのアクセスによる探索機能の強化
- 人事評価支援（パフォーマンス・小降格評価・昇給評価）
- 申請手続き・認定業務の自動化（複雑な判断もルール化で自動化）

業務担当要員
配置の見直し

FUJITSU

組織横断
業務プロセス変革

Level 4

業務運用ルールの自動運用（Co-Pilot化）

業務プロセス変革（省人化・自動化の適用拡張）

業務機能の刷新
組織再編成

人的機能消滅

Level 5

業務運用の完全自動化

- 業務機能の刷新
- 要員再配置
- 組織再編成



**デジタルテクノロジーを活用することで
抜本的な業務刷新が可能になること**

© 2026 Fujitsu Limited

Takane-Driven Initiative概要

ドメイン特化モデル「Takane」を核に、法制度の理解・要件定義から、設計・実装（改修）・結合テストまで、一気通貫の自動化をAIで実現

- 要件定義から結合テストまでを、マルチエージェントで一気通貫にオーケストレーション
- 暗黙知・例外運用を形式知化し、AIが参照可能なGround Truthとして統合
- AIエージェントが影響範囲を特定し、網羅的に設計・実装（改修）

人とAIが対話しつづける開発から、自律的なAIによるノンストップの開発へ



© 2026 Fujitsu Limited

AIが高度な法令理解から要件定義までを自動化

01 人が読み解くには、あまりに複雑な法令文書



02 AIエージェントが自動で読み解く

法令文書を細則まで深く理解し
法令の変更内容を把握

変更内容と設計書を照合し
システムの修正箇所を特定

外部仕様レベルの
要件へ自動生成

03 外部仕様レベルの要件を自動生成

- 公開マスタ設定（チェック）：マスタ内に登録されている「湿布薬」の用語を全て「貼付剤」に変更する。
あわせて、「貼付剤」対象範囲を鎮痛・消炎目的での使用（麻薬・向精神薬、専ら皮膚疾患用を除外）に限定する定義ロジックへ修正。
リフィル制限の判定対象も、「限度が定められている貼付剤」へ変更し、「がんでの鎮痛目的」の場合を除外するロジックを追加する。

- 処方指示ツール（処方指示画面）：画面上に表示されている「湿布薬」の表記をすべて「貼付剤」に差し替える。
リフィル処方の可否判定ロジックを「貼付剤」定義に則って改修し、「限度が定められている貼付剤」かつ「がんでの鎮痛目的」以外ではリフィル不可とする条件に修正。

- 院外処方箋印刷：処方箋に出力される医薬品種別の表記を「湿布薬」から「貼付剤」へ変更する。
リフィル回数やリフィル可否欄も「貼付剤」の新基準に合わせて記載仕様・印刷内容を見直す。

出展：厚生労働省

© 2026 Fujitsu Limited

AI出力の品質を「有識者レベル」に引き上げる仕組み

“ Multi-layer Quality Control

暗黙知・手順・根拠を揃え、**曖昧さや抜け漏れは自動でやり直させる**ことで、
設計品質を実務で使えるレベルに引き上げる仕組み



自律設計レイヤ（ReActループ）

観察→思考→行動を反復し、検索・調査→設計具体化→次の参照先特定までを自走

» **要件定義・設計エージェントの判断精度を底上げ**



ガーディアンレイヤ（メタ認知チェック）

品質基準（根拠・一貫性・明確さ）でAIの思考と結論を監査。不足・曖昧・矛盾があれば「やり直し」を指示

» **AIが陥りやすい「それっぽい回答」を正す**



知識レイヤ（現場の作法を注入）

命名規則・例外運用・画面ID⇔コード対応など、現場の当たり前をガイド・ルールとして構造化し、検索インデックスと設計文脈に注入

» **会社固有のシステム開発作法をAIが再現可能にする**



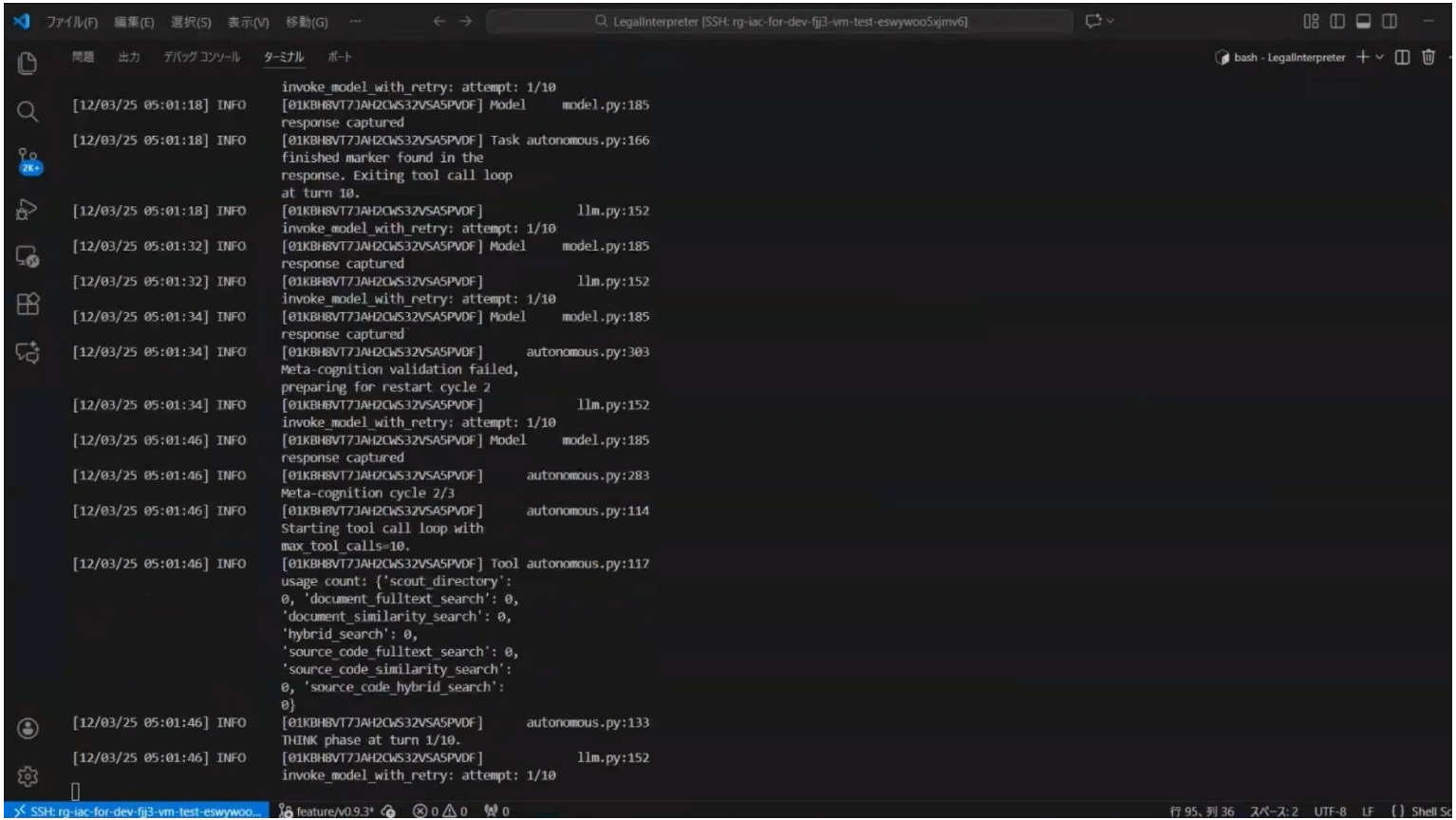
情報アクセスレイヤ（大規模ドキュメント・コード理解） 特許出願中

大量ドキュメントや数百万のコードから、AIの思考に必要な部分のみを抽出し、要約・抜粋を行う

» **精度を落とさず大規模情報を扱えるようにする**

© 2026 Fujitsu Limited

3人月で行っていた作業を自律AIエージェント群が約4時間で完遂



© 2026 Fujitsu Limited

AI-Ready Engineeringとは

AIが既存システムを正しく理解し、信頼性ある自動化を実行できるよう
資産・知識・品質を整える工程。この「仕込み」の成熟度が自動化の精度を決める

AI-Ready
自動化の成功率を決める「仕込み」

資産理解
Asset Understanding

- 既存システム資産の構造化と検索インデックス化
- 暗黙知の形式知化（業務知識・開発手順・資産依存関係など）

開発ルール・設計構造の標準化
Engineering Conventions

- 命名規約・設計作法・テスト観点の整備
- 修正しやすい構造への再編

正解データの準備
Ground Truth

- 過去改修の正解データ化
- AIの結果を正解データと比較・評価する仕組み

実行環境の整備
Execution Readiness

- 自動ビルド・自動テスト・自動配備の仕組み（CI/CD）
- AI が出力した成果物をCI/CD基盤と連携

Fitting
AIをシステムに正しくはめ込む

AI × 既存システムの適合調整
Fitting

- 正解データとAI改修結果のギャップを評価し、コンテキストやプロンプトをチューニング（形式知の見直し・検索インデックスの充実化）
- Takaneのチューニングで AI の判断品質を最適化

© 2026 Fujitsu Limited

AI活用先進領域）社内サービスデスク

- 社内の各部門のサービスデスクを集約、完全AI化を推進中。
  AIエージェントが一次対応・判定・エスカレーションを実行



対象の業務量（問合せ件数,窓口数）

30万件/年, 200窓口

ERP業務領域のQA 1,000件/日 を筆頭に、AIでの回答を実現

75%	85%	▲75%
プロセス自動化	セルフサービス利用 (回答率)	有人対応

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

AI全社展開アプローチ＆まとめ

全社DXプロジェクトをAX体制へ

※2020年7月発足

FUJITSU

経営

ステアリングコミッティ CEO COO CFO CRO CTO/CPO CDXO/CIO CHRO CMO SEVPs 12

FUJITRA

CEO室 **DX Designer** 専任/兼務 40

・Ridgelinez ・デザインセンター ・人材開発 ・広報/IR ・社内IT ・財務/経理 ・マーケティング ・技術/サービス企画 ・事業管理 ・ソリューション企画 ・政策渉外

DX Officer 60

総務・人事 / 法務・知財 / 財務・経理 / 社内IT / マーケティング / SCM / 研究所 / 品質保証 / 事業管理 / 事業戦略 / サステナ / 開発統制 / 広報・IR / 事業部門① / 事業部門② / 事業部門③ / 事業部門④ / 事業部門⑤ / 事業部門⑥ / 事業部門⑦ / 海外R① / 海外R② / 海外R③ / 海外R④ / 海外R⑤ / グループ会社① / グループ会社② / グループ会社③

FUJITRA PARK

9,000 650

DXコミュニティ、フジトラクルー

Etc..

現場

部門横断・グローバル・グループ横断

経営のリーダーシップ

- CEOがCDXOを兼務（2019-23）
- ステコミの主体的なプロジェクトへの参画
- 全社の各プロジェクトとの連動
- CEO直下にPMO組織を新設（DXD）
- 経営～現場のタテ連携、デジタルに声を聴く仕組み

現場が主役・全員参加

- 各組織ごとにDX責任者（DXO）を任命
  (主要組織、各リージョン、主要グループ会社)
- DXOたちによるコミュニティでプロジェクト推進
- フジトラと同じ体制を各部門ごとに組成（xxトラ）
- 有志メンバー制度、SNS上の変革コミュニティ

カルチャー変革

- デザイナーによる企業変革のデザイン
- デザイン思考、心理的安全性
- Diversity & Inclusion
- 人材変革プログラムの全社展開

© 2026 Fujitsu Limited

AI利活用状況＆効果のモニタリング

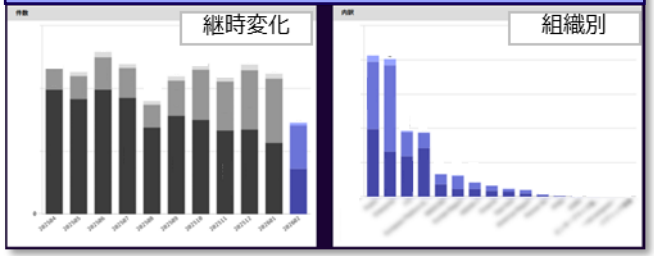
FUJITSU

AI活用の拡大浸透状況をモニタリングするとともに、業務効果や業績への寄与度を分析

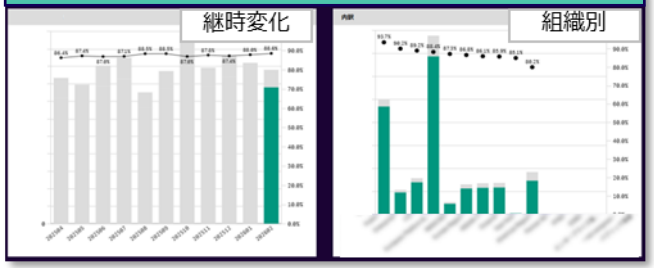
AI活用（アクティブユーザ、利用回数、Agent数、業務変革数 他）



セールスパフォーマンス（商談創出レート、受注率 他）



デリバリー パフォーマンス（有償稼働、不採算コスト 他）



その他 指標

…

業績

売上/利益
生産性

© 2024 Fujitsu Limited

データ＆AI経営に向けて：富士通・経営陣の理解

FUJITSU

AIエージェントが **ビジネス状況を把握**し、**タイムリーに提言**を行うようになる

AIエージェントが 社員の**業務オペレーションを広範に代行**する（自動化）

人間は、**スキル・意識・行動変容**で圧倒的な**生産性と創造性**を手に入れる

経営陣はIT/データの重要性を再認識する必要がある（AI Readiness）

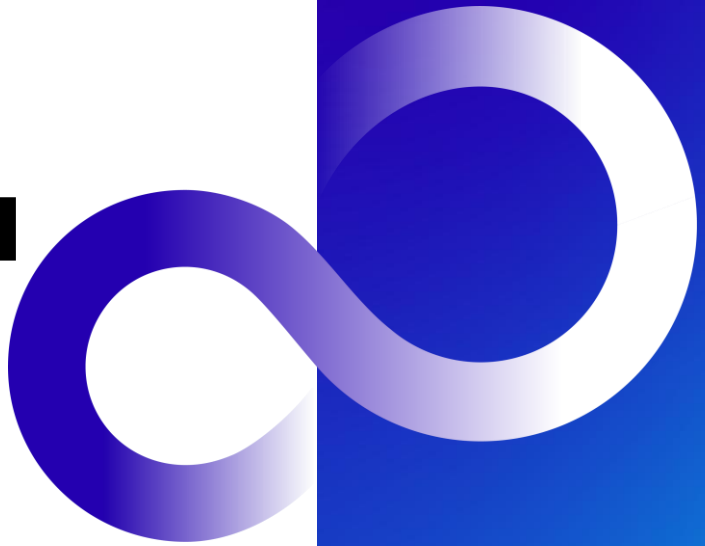
データ&AI経営は **経営アジェンダ**であり、**全員の自分ごと**である

「システム群＆テクノロジーへの投資」と**「変革マネジメント」**が鍵になる

※富士通・川崎オフィス（データ&AIによる未来の経営会議体験施設）

© 2026 Fujitsu Limited

Thank you



FUJITSU

© 2026 Fujitsu Limited